

畑の面積 : 0,23 ha

Age of the Vines : 20 years old

Average annual Production : 1500 bottles

Grape Variety : Pinot Noir

Localisation

この畑は険しい急斜面にあり、かの有名な《クロ・デ・ランブレレイ》の南の壁沿いに伸びている。そこにはとても古いヴェルジ通りがあり、かつてモレ村とヴェルジの丘をまっすぐに繋いでいた。

当時この場所にはヴェルジ卿の城とサン・ヴィヴァン修道院が建っており、12~18世紀にかけて地方で支配的な権力を振るっていた。

1980年代になると、この畑は全体的に整備され、再びぶどうの植え付けが行われた。30~35cmの表土は非常に多くの石を含む粘土質で、下層にコンブランシアン石灰が横たわっている。この畑の土壌は軽く、フィルターのように素早く水をしみ通す。ワインは優しく繊細で、非常にエレガントである。

INAO (アブラシオン統制機構) によって、プルミエクリュへの昇格が審査されている。

1995年、ミシェルは、ぶどうの木が3歳の時にこの畑を買った。この呼称のもとで販売を開始したのは、2000年のヴィンテージからである。

2013年はまたしてもブルゴーニュのヴィンヤールたちに手厳しい試練を与える年となりました。

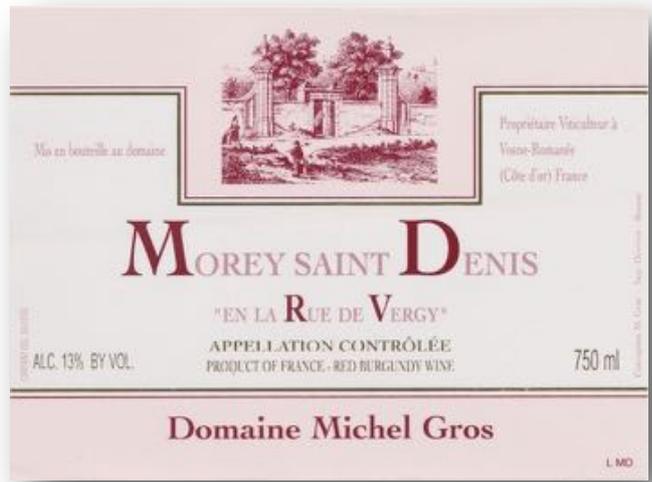
醸造所に健康なブドウを持ち帰るためには、シーズン中、ベト病とウドンコ病との熾烈な戦いを強いられました。

5月という季節を迎えても月間通じて寒々とした雨に見舞われ、そのことが大きく起因して収穫が遅れました。私たちのドメヌヌでは10月6日にヴォーヌ・ロマネの畑からブドウを摘み始め、17日にオート・コートで終わりました。この年より遅い収穫年といえば、1978年まで記憶を遡らなければなりません。開花後期の天候の崩れが原因で花振るいが多く見られ、殆ど全ての房がミルランダージュとなって小さな粒を纏いました。そのため、平年と比べ収量は30~40パーセント落ち込みました。しかし、このミルランダージュこそがヴィンテージを救うことになったのです。

7月に暑い日が差した以外はパツとしなかった夏の不順な天候下でも、負担の少ない小ぶりのブドウ房はパーフェクトに熟してってくれました。

粒が小さく隙間があるミルランダージュの房でなければ、収穫前に続いた数日の雷雨でボトリティス菌が蔓延し、やっと目の前にした収穫物が壊滅していたかもしれません。

そして、果汁の少ないミルランダージュだからこそ実現した濃い色。結実不良により種が無かったり種のサイズが小さかったりすることが幸いした、タンニンの突出しないバランスがとれた自然の凝縮。



成熟が遅れ、比較的冷涼な気象状況のもとでブドウが熟成の最終段階を遂げた為、誕生したワインは濃いフルーツのアロマを丸ごとフレッシュに蓄え、夫々のテロワールの個性をくっきりと描いています。

酸のレベルが高いことはワインの長熟性を示し、一方、低いpHで証明されたこの高い酸味は、タンニンがすでに溶け込んでいるリッチなテクスチャに抱擁され、テイasting上ではさほど目立たないのです。

結果として、2013年のワインはすでに誘惑的な魅力を呈し、ハーモニー、バランス、鮮烈な強さと緻密なアロマを持ち合わせています。ポテンシャルが高く、言うなれば1993年に類似する特徴があり、1993年といえど今日飲んででもなお素晴らしい有望なヴィンテージなのです。

プレスレビュー

Sarah Marsh, Winter 2014, The Burgundy Briefing N° 16

One third new oak. Floral aromas, spices and wild flowers. This is rounded and smooth. Generous and yet subtle and delicate. Very nicely integrated acidity; plenty of silky-smooth tannins and a freshness and spice on the finish. The texture gives this wine slightly sumptuous quality, but so refreshing too. This has charm. Score 16.4. From 2019

Allen Meadows, 15/01/2015, Issue 57

Noticeable but not invasive wood sets off pretty aromas that combine notes of various dark berries, plum, violets and a hint of wet stone. The stony character is also reflected by the lush, even opulent flavors that possess unusually good richness, all wrapped in an ever-so-mildly austere finish. This delicious effort should be approachable young but age well over the mid-term.

今飲んで 88	ポテンシャル 88+	飲み頃予想 今~2030
----------------	-------------------	---------------------

やはりこのワインはグロスさんの村名グループの中で最も薄く、弱いヴィンテージでは結構スキがあったりするが、この13年はキチンと目が詰まっている。そして薄いからよりエレガント。けど、正直他のワインに比べて物足りなさがある。口に含むと香りで感じた通り液体にスキはなく、今既に美味しい。甘苦酸のバランスがとれ、土の風味が美しい。けど、やはり物足りない。思いっきりエレガントだけど。(15年06月試飲)